

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：インド仏教思想入門 ILAS Seminar :Introduction to Indian Buddhist Thought			担当者所属 職名・氏名	文学研究科 教授 宮崎 泉		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2025・前期	受講定員 (1回生定員)	10(10)人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	水5	教室	共北3C			使用言語	日本語
キーワード	中国哲学、印度哲学および仏教学関連 / 仏教 / 空 / インド						
【授業の概要・目的】							
大乘仏教で説かれる空に注目してインド仏教文献の和訳を精読し、それを起点にインド仏教全般について理解を深めることを目的とする。この授業では原典そのものを扱うことができないため、結果としてインド仏教文献の翻訳の限界と可能性についても考えることになる。							
【到達目標】							
文献資料を批判的に扱うための基礎的な能力を養いつつ、インド仏教思想の諸問題について正確な理解を身に付ける。							
【授業計画と内容】							
第1回の授業では、イントロダクションとして授業のガイダンスを行い、授業で扱う文献を読み進めるために必要となる基礎的な事項について解説する。第2回以降は、以下の各項目について必要な解説を行った上で、受講者全員で関連するインド仏教文献の和訳を精読し、関連する諸問題について議論する。受講者の理解度も考慮しながら授業を進めるため、各項目の回数は予定である。括弧内には、参考のために主に取り上げるインド仏教文献を挙げている。							
1 イントロダクション 2-3 大乘仏教における空性と慈悲（『八千頌般若経』） 4 慈悲の修習（『修習次第』） 5 菩提心（『修習次第』） 6 智慧と方便（『修習次第』） 7-8 ナーガールジュナ（龍樹）の説く空（『中論』） 9-11 中観派と自立論証（『明らかなことば』） 12 空性と智慧（『修習次第』） 13-14 止と観（『修習次第』） 15 フィードバック							
【履修要件】							
特になし							
【成績評価の方法・観点】							
積極的な授業参加と各項目毎に課される課題の評価を含む平常点（60％）と期末レポート（40％）に基づく総合評価。詳細は初回授業の中で説明する。							
----- ILASセミナー：インド仏教思想入門(2)へ続く -----							

ILASセミナー : インド仏教思想入門(2)

[教科書]

授業中にプリントを配布する。

[参考書等]

(参考書)

授業中に紹介する

[授業外学修(予習・復習)等]

授業で講読する文献をあらかじめ読み、自身の疑問点を整理した上で授業に臨むことが求められる。

[その他(オフィスアワー等)]

[主要授業科目(学部・学科名)]